

地域再生計画（地方創生汚水処理施設整備推進交付金）中間評価調査書

都道府県名	岡山県	事業実施主体	矢掛町	地域再生計画名	人にやさしい快適な環境のまちづくり計画
計画期間	平成27年度～平成31年度	評価責任者	矢掛町上下水道課長 平井 勝志		

	指標		基準値		中間目標値		最終目標値		中間評価	中間目標値の実現状況に関する評価	
			基準年度		年度	中間実績	基準年度				
①地域再生計画に記載した数値目標の実現状況	指標 1	汚水処理人口普及率の向上	88.5%	H25	95.0%	H29	100.0%	100.0%	H31	○	積極的な施設整備の推進を図った結果、計画より早期に普及率100%を実現した。
	指標 2	交流人口の増加	19万人	H25	20万人	H29	33万人	21万人	H31	○	古民家再生事業で整備した観光施設を活用した各種イベントの実施、広告媒体を利用した宣伝の促進等の観光事業の推進を行った結果、目標を大幅に上回る交流人口の増加となった。
	指標 3	処理場見学者の増加	180人	H25	190人	H29	101人	200人	H31	×	H27年度、H28年度は基準値を上回る見学者数であったが、H29年度は町内小学校による社会科見学の見学者数が半減し、目標未達成となった。
②地域再生計画に記載した数値目標以外の波及効果の実現状況	指標 1										
	指標 2										
③事業の進捗状況	事業名		整備量（その他の事業では取組内容）			事業の進捗状況に関する評価					
			計画	中間年度（H29）	最終実績見込み						
特別措置を適用して行う事業	公共下水道整備事業（管渠）		10,490m	8,683m	10,490m	計画どおり順調に整備は進捗している。今後も引き続き計画どおり進めていく。					
	公共下水道整備事業（処理場）		1箇所	0箇所	0箇所	H29年度着手の計画であったが、計画当初見込みより汚水流入量が伸びなかったため増設計画を延伸した。延伸後の計画では、H30年度着手、H33年度末完成の予定である。					
	合併処理浄化槽整備事業（個人設置型）		75基	11基	32基	水洗化促進活動を行っているが、高齢世帯の加入が進まない状況にある。引き続き制度のPRを実施し加入の促進を図る。					
その他の事業	良好な住環境の提供		分譲地造成事業		9戸の分譲地造成（うち7戸入居済み）により、定住人口の増加を実現した。引き続き、分譲地造成事業による定住人口の増加を図る。						
	矢掛町観光推進		広告媒体を利用した宣伝推進		パンフレット作成、観光HP開設、SNSの活用、観光大使やかっぱーの活用等により宣伝を促進し、交流人口の増加を実現した。引き続き、宣伝を促進していく。						
	環境にやさしいまちづくり		矢掛町まちピカ応援事業 処理場の施設見学		矢掛町まちピカ応援事業では、計画前年度の91団体からH29年度の113団体へと、22団体（24%）の増となり、協働のまちづくりの推進を図ることができた。処理場の施設見学については、例年小学校の社会科学習やいきいきサロンにより見学していただき、下水道への理解を深めていただいているが、見学者数は伸び悩んでいる。引き続き積極的な受入を行い、見学者の増加を図る。						
計画外で独自に実施した事業	下水道広報推進		マンホールカードの発行		マンホールカードの発行、それに併せた広報活動により、交流人口の増加を図ることができた。						
④評価方法	矢掛町上下水道事業運営委員会を開催し、中間目標値の実現状況に関する評価・検討等を行った。										
⑤中間評価の公表方法	矢掛町のHPに掲載										
⑥計画全体の総合評価	本地域再生計画では、年度間調整を行うなど整備段階にあわせた予算措置が実施でき、普及率の向上を実現できた。一方、処理場の増設事業については、計画当初見込みより汚水流入量が伸びなかったことによる計画変更により、本計画期間中には完了しない見通しである。										
⑦今後の方針等	汚水流入量の見通しに合わせ、計画的かつ経済的に矢掛浄化センターの増設事業に取り組むとともに、地域再生計画に沿って各種関連事業を実施し、「人にやさしい快適な環境のまちづくり」を進めていく。										